

2023年1月1日発行

あけましておめでとうございます

最近の状況

昨年1月のニュースレターの表題には「新型コロナ問題、オミクロン株の脅威の中で年越しに」と書いていました。今年の新年は、コロナには特段の規制は無い形で迎えましたが、果たして今後どのような展開があるのでしょうか。隣国中国のコロナ急拡大への日本の対応が気になります。ウクライナ問題に端を発し、最近では我が国も防衛力を強化すべきとの動きになっており、1930年代の世相と似ていると心配する向きもあります。2023年は、平穏な年であってほしいものです。



寒 椿

12月定例会を開催

12月定例会は、新型コロナの感染者数の急増に対応して、11月に引き続きzoomでの開催に切り替えて12月13日に開催しました。今回は、工藤克典さんが「プロジェクトフォーメーション第2回 官民ファンド、資金調達における官民ファンドの位置づけなど」として発表。参加者は8名。参加者からは、官民ファンドの活用を広げるには、各企業向けに説明したり、水団連等の講習会等で説明するようなアウトリーチが効果的ではないか、公的資金を投入するようなファンドはバラマキ的にならない様にするべきだ、上水道が（厚労省から）国交省の所掌に移るとのことなので、この機会に政府に働きかけて、海外での上下水道事業へのJOINの積極的な活用を提案したり促していくことが考えられるなどの意見が出ました。詳細は、水道公論2月号に掲載されます。

水道公論1月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは岡部洋氏による「日本に海外水ビジネスの競争力はあるのか」を、コラム「海外ビジネスの眼」では「DXとGXとは？」を掲載。いずれも、それぞれの筆者の力作です。どうぞ、ご期待ください。

定例会・幹事会の開催について

- ZOOM幹事会は、1月10日（火）定例会の前の30分間、即ち19時か等ら19時半まで。2月と3月の定例会の予定確認等を行う予定。（今回は、定例会の前の週の幹事会開催は取りやめになります）
- 定例会は、zoomで1月10日（火）19時半から21時（テーマは上下水道事業体の環境会計、講師は、森本さん、田中さん、富岡さん）

研究会への参加者募集について

- 研究会への参加のお問い合わせ、ご意見、ご提案をお待ちしています。
- 研究会の開催は、東京都内の会議室（市ヶ谷の水道会館など）での対面開催（zoom併用）の場合は、12:30～14:30の時間帯で、zoomのみでの開催の場合は、同時間帯か、19:30～21:00の時間帯で実施しています。開催日程やテーマは、その月の1日に発行されるNews Letterでお知らせしています。
- お問い合わせは、事務局宛のメール（下記）をご活用ください

水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。